

I

【問1】

本文（英文）の内容を正確に読解し、その要約を限られた日本語で表現する問題である。環境と人間に関わるテーマの本文（英文）の読解力、要約文章の正確性ならびに表現力を問うものである。

【問2】

本文（英文）の内容を基礎に、環境と人間に関わる課題と解決策を、日本の特性をふまえ柔軟に思考し、自分の考えをまとめ、日本語として適切に表現できるかどうかを問うものである。思考力、構成力、表現力、を問う総合的な問題である。

II

【問1】

本文下線部（世界の情報伝達力が SARS 流行時の 68 倍に拡大していること）について、提示された図からデータを読み取り、本文の内容を踏まえて解釈する力（読解力、思考力）を問う問題である。図の伝達媒体の変遷の中で示された 4 つの指数のうち、SNS や動画サイトのような個人も発信できる伝達コンテンツ数やコンテンツあたりの情報量が増加したことを読み取り要約する文章力を問うものである。

【問2】

本文下線部の記載と、グラフによる 2 回の調査結果から対象者の不安内容の変化を読み取る能力を問う問題である。最初の調査では感染症そのものに対する不安から、2 回目の調査では情報の真偽や、それに起因して起こる買い占めで必需品の入手が困難になっているなどの日常生活への影響に不安を感じていることを読み取り、要約する文章力を問うものである。

【問3】

SNS や動画投稿が個人レベルでできる現在のインターネット上の情報には、信頼性の乏しい内容も多く溢れているため、その情報源の信頼性や内容の信憑性を見極めて収集し、さらにそれらを要約して自身の考えも含めてアウトプットする能力は大学生の学びで求められる素養である。本文全体を通してその出題者の意図を理解し、自身の言葉で表現することができるかを問う問題である。